

宮城区のデイゴ



認定番号 106

樹種名	デイゴ	科名	マメ科	方言名	ディーグ	学名	<i>Erythrina variegata</i> L.		
形状・寸法	樹高 5.8 m	胸高周囲 3.1 m	根本周囲 2.6 m	樹幹占有面積 74.0 m ²					
	枝下高 0.4 m	枝張 東 5.3 m 西 5.6 m	南 5.0 m 北 3.6 m	最大樹冠幅 10.9 m					
通称	デイゴ	樹齢	27年(推定)						
所在地	大宜味村字宮城地内						所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明	
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他 ()						状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他	
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 その他 7 沖縄の名木百選以外なし						気象条件 月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 平均気温(°C) 16.7 16.1 18.1 22.7 25.3 28.1 降水量(mm) 237.0 123.0 212 357.0 124.5 309.5 平均風速(m/s) 4.0 4.5 3.7 3.6 3.2 3.5 風向 NNE S S NNE S WNW 月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平均気温(°C) 29.6 29.4 28.2 27.4 22.3 19.8 降水量(mm) 101.0 172.0 359.0 139 117.5 28.5 平均風速(m/s) 3.6 3.0 3.8 3.5 3.6 3.9 風向 S NNE SSW SSE NNE N 年平均気温 23.6 °C 最高気温 34.1 °C 年降水量 2280.0 mm 最低気温 5.5 °C		
	周囲の状況	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()							
土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:								
土壌	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()								
基岩・母材									
地形	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪地 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他							潮風の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)
	土性	1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない 5 シルト質壤土						日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良
根元及び周囲の植生		草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし						周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))
								周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし
								周辺樹木との関係	1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている

管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m 材質 柵内面積 m ²)
	設置年
	2 支柱 a 有 b 無
	3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理
	4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類)
	5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類)
	6 解説板 a 有 b 無
	7 避雷針 a 有 b 無
	8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無
9 その他	
過去の治療歴と内容	無し
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 大宜味村宮城団地の完成後の昭和58年に、同用地駐車場内に挿木で植栽された。 6 不明
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 オオイタビ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 4 その他 観光スポット

地上部の衰退度判定（認定番号106）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 0.36

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

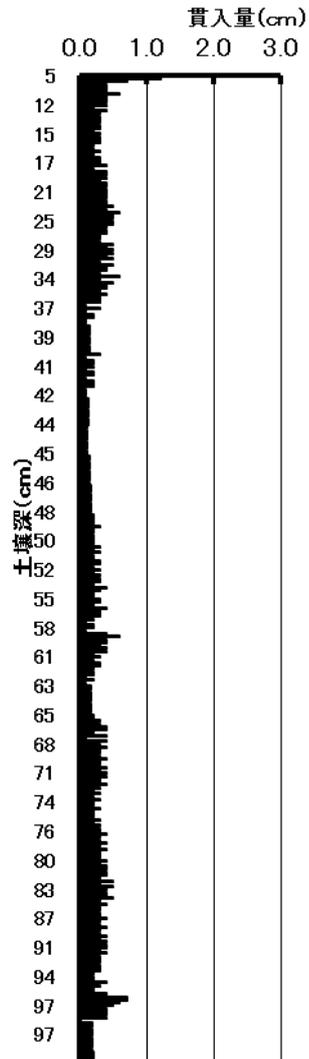
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下	○			
幹の傾斜の増大	○			
その他()				

土壤調査結果（認定番号 106）

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	10YR3/3	0-6	—	シルト質壤土-砂壤土	7.5	15.1
II	10YR3/4	6-12	—	砂土		
III	10YR4/4	12-24	—	砂土		
IV	10YR4/3	24-	—	砂土		

土壤貫入量結果



部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none"> ・シルト質砂壤土で大きな礫を含む。 ・植え柵の土量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の補填を検討する。
根	<ul style="list-style-type: none"> ・根は植樹柵全体に広がり、根上がり、巻き根が縁石側と排水路側に見られ、根元まわりの土の隆起が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植柵の縁石を撤去して土壌を補填し、根域を拡大することを検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈機によると思われる傷が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無し。
幹	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな損傷は認められない。 ・地上高 0.7mで3叉に分岐する。その中央は深さ25cmで凹み、中は腐植で満たされている。 ・樹皮の活力はやや乏しく、地衣類の付着が見られる。 ・樹幹注入痕からの腐朽は認められない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイゴヒメコバチ対策として樹幹注入剤の継続実施を検討する。
枝	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定痕の巻き込みは概ね良好であるが、北西側に伸びる中枝の一部に枯死、腐朽が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・枯死枝の切除を検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・排水路側に水平に長く伸びる枝は折れる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱の設置を検討する。
葉	<ul style="list-style-type: none"> ・新芽は充実している。 ・デイゴヒメコバチの虫えいが排水路側で一部見られる程度で。害虫管理は良好。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイゴヒメコバチ対策として樹幹注入剤の継続実施を検討する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・植柵の縁石を撤去した後に、木登り防止のため、柵の設置を検討する。 	

